

題目	総	合
----	---	---

※ 問題用紙は、(その1)から(その3)までありますから、注意してください。

※ 答えは、別紙の解答らん(べつし かいとう らん)に書き入れなさい。

1
18

次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

①稲、②小麦、大豆、③とうもろこしなどは、その種や実を食べる植物です。穀物といわれ、その多くは主食となっています。しかし、稲以外の穀物は、国内での生産量が少なく、多くを外国からの④輸入にたよっています。

問1 下線①について、稲や米について、次の問いに答えなさい。

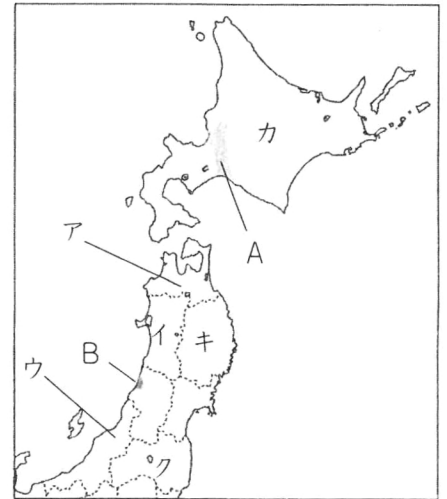
1 米の生産量が全国1位である県を右の地図のA~ウから選んで、記号で答えなさい。

2 米づくりがさかんな右の地図のA・Bの平野をそれぞれ次から選んで、記号で答えなさい。

ア 宮崎平野 イ 越後平野 ウ 仙台平野
エ 庄内平野 オ 石狩平野 カ 十勝平野

3 稲作の作業のうち、代かきはどの作業とどの作業の間に行われますか。代かきが行われる時期を次の図のA~ウから選んで、記号で答えなさい。

田起こし $\xrightarrow{\text{ア}}$ 田植え $\xrightarrow{\text{イ}}$ 中干し $\xrightarrow{\text{ウ}}$ 稲刈り



4 米の生産額の割合を示しているものを右のグラフから選んで、記号で答えなさい。ただし、ほかは畜産とくだものです。

農業生産額の割合 (2016年) その他

ア	野菜	イ	ウ	その他
34%	28	18	9	11

問2 下線②について、次の問いに答えなさい。

1 小麦と大豆の生産量が全国1位である道県を右上の地図のカ~クから選んで、記号で答えなさい。

2 小麦や大豆について述べた文として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア 小麦はうどんの原料になるほか、きな粉やみそをつくるのにも使われます。

イ 日本では、大豆の多くは油をとるために使われています。

ウ 小麦と大豆は、アメリカからの輸入が多くなっています。

問3 下線③や牧草などは、牛やぶたなどの家畜にあてるえさになる作物です。家畜にあてるえさを といい、えさになる作物は 作物といわれます。 にあてはまることばを答えなさい。

問4 下線④について、米や農産物の輸入について述べた文として正しいものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア 日本の米の輸入量は、国内で生産される米の量より多くなっています。

イ 日本にとって米の最大の輸入相手先は、中国です。

ウ 農産物の輸入が増えても日本の農家に影響はないため、日本は積極的に輸入をすすめています。

エ 農産物の輸入が増えた理由のひとつに、温度を一定に保つ輸送技術の発達があります。

2

次の会話を読んで、後の問いに答えなさい。

み ほ：ただいま。頼まれていたものを買ってきたよ。
 お母さん：ありがとう、助かったわ。おばあちゃんが送ってくれた①さつまいもでおやつをつくったから、食べましょうね。このさつまいも、②農業や化学肥料を使わないでつくられているのよ。
 み ほ：お母さん、おやつの前に、買ってきたものを確認してもらってもいい？ まずは、お茶。茶は③工芸作物っていうんだよね。くだものは、④みかんと⑤りんごを買ってきたわ。野菜は、高知県が生産量日本一のA。ピーマンは宮崎県でつくられたものだったよ。Aもピーマンも夏野菜だから、ふつうよりも早い時期につくるB栽培によってつくられたものかな。あとキャベツ。このキャベツ、学校で生産量が多いって習った群馬県産じゃなかったんだけど、なぜだろう？
 お母さん：きっと、今は冬だからよ。
 み ほ：そうだったね。群馬県ではCから、夏の生産量が多いって習ったんだ。冬には愛知県や千葉県からの出荷量が増えるんだったわ。

問1 Aにあてはまる野菜を次から選んで、記号で答えなさい。また、Bにあてはまる栽培方法の名を答えなさい。

ア たまねぎ イ にんじん ウ きゅうり エ なす

問2 Cにあてはまる文を次から選んで、記号で答えなさい。

ア 夏に野辺山原でキャベツをさかんに栽培している
 イ 夏にビニールハウスの中でキャベツを栽培している
 ウ 夏に涼しい気候をいかした高冷地農業がさかんである

問3 下線①の都道府県別生産割合(2016年)を示したグラフを右から選んで、記号で答えなさい。

ア	鹿児島 38%	茨城 20	千葉 12	その他 30
---	---------	-------	-------	--------

イ	北海道 78%	長崎 4	鹿児島 3	その他 15
---	---------	------	-------	--------

ウ	静岡 38%	鹿児島 31	三重 8	その他 23
---	--------	--------	------	--------

問4 下線②のような農産物で、国が定めた質や生産方法などを満たしているものにはD JASマークがつけられています。Dにあてはまることばを答えなさい。

問5 下線③について、次の問いに答えなさい。

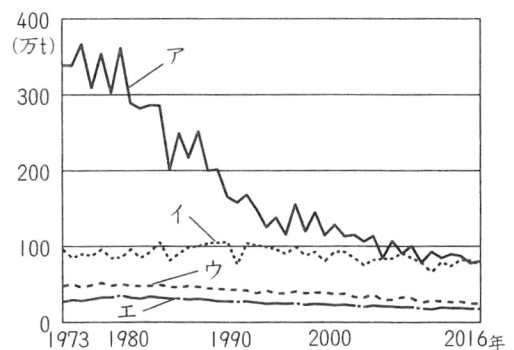
1 砂糖の原料になる工芸作物として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア てんさい イ いぐさ ウ さとうきび

2 こうぞ・みつまたについて述べた文として正しいものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア 取り出した液をお盆やおわんなどに塗って漆器がつけられます。
 イ こんにやくをつくるとききの原料になります。
 ウ 布などを赤色に染めるのに使われます。
 エ 木の皮が和紙の原料になります。

問6 下線④の生産量の変化を示したグラフを右から選んで、記号で答えなさい。なお、他の3つのグラフはぶどう・日本なし・りんごを示しています。



問7 下線⑤の全国の生産量の半分以上を生産している県の名を答えなさい。

3

次の表は、家畜について説明したものです。これを読んで、後の問いに答えなさい。

① 乳牛	牛乳は飲用乳になるほか、②乳製品に加工される。Aが飼育数1位である。
② 肉牛	A・鹿児島県・Bなどで多く飼われている。 ③ブランド牛は、品質のよさを強調した高級な肉である。 1990年代から牛肉の輸入量が増えた。
③ ぶた	飼育数は鹿児島県が1位、Bが2位となっている。
④ にわとり	たまごを生産する採卵鶏と肉用の若鶏に分けられる。

問1 Aにあてはまる都道府県の名を答えなさい。また、Bにあてはまる県を次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 岩手県 イ 栃木県 ウ 宮崎県 エ 茨城県

問2 下線①・②について、牛乳や乳製品をつくるために乳牛を飼う農業を特に何といいますか。また、乳製品として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア バター イ どうふ ウ チーズ

問3 下線③について、ブランド牛とその産地の組み合わせとして正しいものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 松阪牛－三重県 イ 米沢牛－兵庫県 ウ 神戸牛－山形県

問4 上の表の波線②～④のうち、現在、出荷される肉の量が最も少ないものを選んで、記号で答えなさい。

問5 畜産について、次の問いに答えなさい。

1 近年、畜産農家の数が減っています。畜産農家が減っている理由として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 設備やえさに費用がかかるから。
イ 働く人の高齢化が進み、後継ぎが不足しているから。
ウ 海外から輸入される価格が高い肉との競争がきびしいから。

2 畜産農家について述べた次の文のCにあてはまることばを下のア・イから、Dにあてはまる文を下のウ～オからそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

農家1戸あたりの飼育数はCしています。また、ぶたの飼育では、D

- ア 減少 イ 増加
ウ 出荷されるぶた肉は、注文があるまでカントリーエレベーターに保存されています。
エ 牛のように放牧することができないため、放し飼いにされているぶたはいません。
オ 畜産専門の会社が大規模な養豚場を経営し、機械を用いてぶたを管理することもあります。